

## 平成29年度第3回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「川又川，ガサガサ調査～魚や水生昆虫を観察しよう！」を実施しました。

開催日時：平成29年5月20日（土）午前9時から午後3時まで

開催場所：石岡市小幡および石岡市高浜

参加者：37名

今回は霞ヶ浦を代表する恋瀬川にスポットを当て、特にその上流域にあたる支流・川又川において、捕まえた生き物（指標生物）から、その川の水質を知ることができることと、併せて透視度やCODの値を測定して結果を比べてみることで河川の水質を知る方法について学んでみました。

当日は絶好の観察会日和になりました。途中、混雑もなく目的地の川又川には予定より早く到着しました。水辺での安全に対する注意や生き物の取り方について説明した後、さっそくとも網を使った生き物採集（ガサガサ調査）を始めました。観察地は例年より水が少なく、陸地の部分が多くて、生き物が集まるか不安でしたが、草が水面に被さっているところに網を差し入れたり、石の下流側に網を置いて石を足で転がして石裏にかくれた生き物を捕まえたり、二人で下流と上流に分かれて挟み撃ちにしたりと、参加者の皆さんがそれぞれ工夫することによって、多くの生き物を採集し観察することができました。集まった生き物はきれいな水を好むサワガニやカワニナなどが見られた一方で、汚い水でも平気なアメリカザリガニも見られました。さらに川を遡って源流のほうへ行けば、きれいな水に住む生き物が増えていきますが、観察地の周りは田んぼで人家もあり、源流と比べて人間の活動に伴った栄養分が流れ込んでいることがわかりました。それでも水はきれいで、触れてみたいと思わせるものでした。ちなみにここでの透視度は約50cm、CODは4mg/Lでした。

川のせせらぎを聴きながら昼食をとったあとは、恋瀬川の最下流にあたる高浜入りに移動しました。同じ恋瀬川水系でも上流と下流では大きく姿が変わることをみなさんで確認するためです。高浜入りの恋瀬川は霞ヶ浦との接続部で、川幅はとても大きくなり、豊かな水をたたえています。ここでの透視度は約17cm、CODは8mg/L以上と、水質は上流域より悪くなりました。上流域からここに至るまでに、人の生活圏を流れてくるための結果ですが、この変化が大きくなるように、霞ヶ浦をきれいにするための意識を常に持って生活していきたいものです。水質面では上流域より悪くなる高浜入りですが、高浜入りから眺める筑波山は美しく、ヨシ原にはオオヨシキリのさえずりが響いていました。高浜入りが霞ヶ浦の誇るべき風景の一つであることを実感しました。

暑い一日でしたが、怪我もなく無事に観察会を行うことができました。参加者の皆さん、パートナーの皆さん、当日はありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人

今回、観察した生き物は次の通りです。

川又川：魚類（カワムツ、ドジョウ、ヌマチチブ、ヨシノボリ）、両生類（トウキョウダルマガエル、ツチガエル）、昆虫（タイコウチ、コオイムシの仲間、ゲンゴロウの仲間の幼虫、ハグロトンボのヤゴ、オニヤンマのヤゴ、ミズアブの幼虫など）、甲殻類（サワガニ、アメリカザリガニ）、貝類（カワニナ）

観察会の様子と観察した生き物の一部を御紹介します。



観察地はたくさんの緑に囲まれています。



川に降りて生き物採集を始めます。



石の裏にはサワガニや水生昆虫が隠れています。



コオイムシのなかま  
卵を背負っているのがオスです！



パックテストで水質調査中！



高浜入りの風景です。

